



2021年 11月 19日 (金)
愛知県芸術劇場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティンググループ
☎ 052-955-5506

<Press Release>

公益財団法人愛知県文化振興事業団

報道各位



第21回

AAF 戯曲賞 公開最終審査会

Aichi Arts Foundation Drama Award

「第21回 AAF 戯曲賞」の公開最終審査会を2022年1月23日(日)に開催します。今回は、全国から115作品のご応募をいただき、一次、二次審査の結果、8作品がノミネートされました。この中から大賞・特別賞を決定する最終審査会を公開で行ないます。会場は愛知芸術文化センター12階アートスペースAで、ライブ配信も行なう予定です。大賞受賞作品は、2023年度以降に当劇場のプロデュース公演として、小ホールで上演します。ダンス、演劇、美術などのフィールドで活躍する4名の審査員が観客の目の前で繰り広げる白熱した議論にご期待ください。なお、ノミネート作は当劇場のウェブサイトでご覧いただけます。

また、2021年11月25日(木)・26日(金)にはAAF 戯曲賞の関連イベント「第20回 AAF 戯曲賞受賞作品『リンチ(戯曲)』を読んでみる」をオンラインで開催します。ゲストは横浜国立大学准教授の平倉圭。20年度大賞受賞作品の本戯曲を、ゲストや参加者と一緒に読み合わせをすることで、戯曲の読み方を学びながら、活字の行間にある作品の雰囲気を感じていただけたらと思います。戯曲を読むことに慣れていない方もお気軽にご参加いただけるイベントです。

AAF 戯曲賞とは…

2000年より開始した、上演を前提とした戯曲賞。当劇場主催のもと、次代を担う劇作家および後世に残す戯曲を発掘。作家と演出家・作品と観客が出会い、価値観を創出することを目的としている。15年より「戯曲とは何か」という提題を設け、演劇の可能性に挑戦し続けている。

お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

広報・マーケティンググループ(武石) 企画制作グループ(山本)

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 Tel 052-955-5506 Fax 052-971-5541

メール: pr@aaf.or.jp ウェブサイト: <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/>





第 20 回 AAF 戯曲賞 公開最終審査会の様子(2021 年 1 月 10 日愛知芸術文化センター12 階アートスペース A)

- 日 程** | 2022 年 1 月 23 日 (日)
- 時 間** | 最終審査会 13:00～
表彰式 17:00～ (予定) ※審査状況により時間を変更する場合があります。
※審査会はライブ配信あり。当劇場の YouTube 公式チャンネルでご覧いただけます。
- 会 場** | 愛知芸術文化センターアートスペース A (12 階)
- 入 場 料** | **無 料** (定員 50 名) ※予約不要・途中入退場可
- 審 査 員** | (50 音順・敬称略)
岩淵 貞太 (ダンサー・振付家)
鳴海 康平 (演出家・「第七劇場」代表・Théâtre de Belleville 芸術監督)
羊屋 白玉 (演出家・劇作家・俳優・「指輪ホテル」芸術監督・ソーシャルワーカー)
やなぎみわ (アーティスト)
- 賞 金** | 大賞 50 万円、特別賞 10 万円

受賞候補作品 (作品名 50 音順・敬称略)

作品名	応募者
『クバへ／クバから』	みのあらた 三野 新
『けーきゅー 『k q』』	ささき 佐々木すーじん
『しゃげ し 『鮭なら死んでるひよこたち』』	もりやすく に こ 守安久二子
『じけん 『事件』』	むらかわたくや 村川拓也
『せんせい くら 『先生の暗いロッカー』』	たさかてつろう 田坂哲郎
『どくりつせんげん 『Dokuritusengenn』』	あらいひろとし 荒井啓利
『ふおーりなーず 『FOREIGNERS』』	いしみまき 石見真希
『ぺんだんとは みつからない』』	たつたまさし 立田優詞

※候補作品は、ウェブサイトでも閲覧いただけます。

<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/aaf/index.html>

応募作品の状況

- 応募作品数** 115 作品(第 20 回 117 作品、第 19 回 136 作品)
- 一次審査通過作品** 18 作品
- 二次審査通過作品** 8 作品



関 連 イ ベ ン ト

■ 第 20 回 A A F 戯曲賞受賞作品『リンチ（戯曲）』を読んでみる

日 時 | 2021 年 11 月 25 日（木）・26 日（金） 各日 20:00～22:00

会 場 | オンライン

内 容 | 25 日（木）『リンチ（戯曲）』シーン 1 を読む
26 日（金） シーン 2 を読む

ゲ ス ト | 平倉圭（横浜国立大学准教授）

参 加 料 | 無 料 （先着 30 名程度）※要事前申し込み

お申し込み | ws2@aaf.or.jp メールの件名に「『リンチ（戯曲）』を読んでみる」、
本文に①お名前（ふりがな）②参加希望日（1 日のみ・両日、どちらも可）を書いて
お申し込みください。

はじめてこの戯曲を読んだとき、土方巽の『病める舞姫』を思い出しました。
内臓に振り付けられていると言ってもよいかもしれない。とにかく衝撃的な戯曲です。

—平倉圭